

wakaba だより

# ぽかぽか

No.16 平成31年2月19日

多機能型事業所 socio  
(児童発達支援事業wakaba)

今年度の療育もあと1ヶ月となりました。あと数回となった今年度の療育、1回1回を大切に子ども達と向き合っていきたいと思います。3月で療育を終了されるお子様ともよいしめくりができるようにスタッフ一同、気持ちを合わせていきます。最後までよろしくお願いいたします。

## 個別懇談お世話になりました

新年度に向けての個別懇談では、お子様の姿や課題を共通認識することができ、来年度の方向性を一緒に考えて行くことができました。お忙しい中、都合をつけてお越しくださり、ありがとうございました。

個別懇談でのお話をもとに来年度の利用曜日及び時間を組んでいき、3月中旬に決まり次第内容を記入した用紙を保護者様にお渡します(連絡帳の裏につけます)。療育をお休みになられた場合は次週にお渡しするようになりますが、お仕事の都合などで早くお知りになりたい方がおられましたら、直接socio(wakaba)までお問合せください。保育園や幼稚園に通っている方は、保護者様より園の先生に決定内容をお伝えくださいますようお願いいたします。

## お知らせ

OwakabaのLINEができました。一括連絡LINEについては、皆様に書面にてお知らせしています。警報発令時の対応や行事のお知らせ等、皆様に共通してお伝えすることがある時に使用しますので、ご登録がお済みでない方は、お配りした案内の登録方法をご覧の上、早めのご登録をお願いします。

※一括連絡LINEとは別に個別の連絡が取りあえるwakabaのLINEもできました。施設の電話が話し中で通じない時、夜間や閉所時間などに欠席連絡などを知らせていただくことができます。また、欠席時にお渡しできなかったお便りを送信させていただくこともできます。個別連絡のLINE登録につきましては、送迎時など施設にお越しくださった際に、スマートフォンをご持参の上、スタッフまでお声かけください。

○3月の育児相談は、3月16日(土)の午前中です。  
お気軽にご予約ください。



先日、親子教育プログラムの見学に参加しました。見学させていただいたのは、年長児のクラスでした。そこで、担当の先生から、小学校に入学してからにつながる幼児期の人との関わりについて貴重なお話をお聞きすることができました。その中から、「名前の呼び方」について要約してみました。

最近の子ども達は、自分の名前、家族の名前（兄弟、父母、祖父母など）を代名詞で言わない子が増えている。

近い間柄なら代名詞ではなく名前でも誰のことかわかるかもしれない。しかし、相手によっては、「たろうくんが・・・」と言ってもそれが、友達のことなのか、お父さんなのか兄弟なのかわからない。「たろうくん」だから友達のことなのかなと思って聞いていたら、お父さんのことだった、ということもあるだろう。

また、「たろうくんって誰のこと？」と尋ねると説明できない子どもも多い。「お兄ちゃん？弟？」と掘り下げてきくと、選択肢でも答えられない子もいる。「同じ兄弟でもお兄ちゃんと弟の違い」がわかっていないと選択肢からも答えられず困ってしまうのである。

「兄弟とは誰のことを言うのか？」「家族とは？」「お兄ちゃんと弟、お姉ちゃんと妹の違いは？」何となくわかるけど、改めて尋ねてみるとはっきりわかっていないという子も意外という。

ひと昔前までは、小学校入学までに自分のことを「ぼく」「わたし」で言えるようにという時代があった。時代とともに変化していくこともあるが、授業での発表場面で話し言葉のように自分のことを名前と言うのは現代でも違和感があるだろう。

さらに、小学校で必ず書く日記や作文では、自分の事を名前ではなく、「ぼく」「わたし」の一人称で書くと、家族のことも「お姉ちゃんが」など名前では書かない。「ぼく」「わたし」「家族」「兄弟」「女の子」「男の子」など正しい呼び方に幼児期から触れて慣れていくことが、就学後のつまずきを軽減する1つとなる。～



年長児になると相手に応じた名前の呼び方を日常生活の中で習得していくことが大事になるそうです。小学生になって急に知らせるのではなく、少しずつ生活の中で知っていけるといいですね。